

単元名

町の すてき つたえたい

教科書 下巻 p.88 ～99 単元の配当時間 13 時間／活動時期 11 ～12 月

単元の目標

これまでの町探検で気付いたことやわかったことを伝え合う活動を通して、伝える相手を想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりして、自分の伝えたいことが相手に伝わるよさや身近な人と関わることの楽しさがわかったり、改めて町のすてきに気付いたりするとともに、町に対する愛着をいっそう深め、これからも町の人や場所と進んで関わるができるようにする。

小単元の目標と評価例

※ここに示した例は、啓林館の教科書を使用した場合に考えられる参考例です。学校の実態に合わせて改変して使用してください。

| 小単元名と小単元の目標 | 評価規準（おおむね満足できる） | | 十分満足できると見取る児童の具体例 | 努力を要する児童への支援 |
|--|-----------------|---|---|---|
| 町の すてきを 広めよう（2時間） これまでの町探検を振り返る中で、自分たちの町にはすてきな人や場所がたくさんあることがわかるとともに、町のよさを広めたいという思いをもち、伝えたいことを考えることができるようにする。 | 知 | 町にはすてきな人や場所がたくさんあることがわかっている。 | 町の人や場所のすてきについて、さまざまな観点から気付くとともに、「見守り隊の〇〇さんは、私たちのために毎日早起きして立ってくれているんだね」など、それらが自分の生活と関わっていることがわかっている。 | ●町のすてきな人や場所についてグループで話し合う時間を設定したり、これまでの記録カードや撮影した写真、動画などを教師がいっしょに見ながら声をかけたりして、気付きを促す。 |
| | 思 | 町探検で発見したことを「町の人の願い」「町のおすすめ」「町の工夫」などの観点で思い起こしながら、伝えたいことを考えている。 | 町探検で見付けたことやわかったこと、感じたことなどを、町の人の願いや町のおすすめ、町の工夫と関連づけて捉えながら、友達と交流したり、付せんにかいたりしている。 | ●発見したことを「町の人の願い」「町のおすすめ」「町の工夫」などの観点にうまく分類している子どものようすを取り上げ、友達の考えを参考にしたり、友達と話し合いながら考えたりすることができるようにする。 |
| すてきをつたえる じゅんびをしよう （5時間） 町のよさについて、伝えたい人や内容に合わせて伝える方法を選び、工夫してまとめたり準備したりすることができるようにする。 | 知 | 相手や目的に応じて、適切な伝え方があることがわかっている。 | さまざまな伝え方の中から、自分が伝えたいことがよりよく伝わる表現方法を選ぶことの大切さがわかっている。 | ●新聞、クイズ、劇化など、これまでに経験した伝え方を振り返ったり、教科書下巻p.93や同p.122～123などを提示したりして、適した表現方法を考えることができるようにする。 |
| | 思 | 伝えたいことが相手に伝わるかどうかを意識しながら、伝える内容や伝える方法を決めている。 | 「新聞にまとめるときは、1年生にも伝わるように、わかりやすい言葉を使おう」「見守り隊の〇〇さんのことは、劇で発表したほうが動きが伝わってわかりやすいと思うよ」「遠くからでもみんなが見えるように、大きな文字でかいたほうがいいね」など、相手のことを意識しながら、友達と相談したり、ほかのグループからアドバイスをもらったりして、自分たちの発表のよい点やもっと工夫できる点を考えている。 | ●グループ同士で発表を見せ合ってアドバイスをし合う時間を設定し、伝える内容や方法を考えることができるようにする。 |
| | 態 | 町のすてきを伝えたいという思いをもって、町探検で見付けたことや気付いたこと、感じたことなどを自分なりに表現したり、まとめたりしようとしている。 | 町探検で見付けたことや気付いたこと、町のよさなどを、友達と協力しながら進んでまとめようとしている。 | ●町探検のようすを写真や動画で振り返ることで、活動への意欲を高めることができるようにする。 |

単元の評価規準

●知識・技能

これまでの町探検で気付いたことやわかったことを伝え合う活動を通して、自分の伝えたいことが相手に伝わるよさや身近な人と関わることの楽しさがわかったり、改めて町のすてきに気付いたりしている。

●思考・判断・表現

これまでの町探検で気付いたことやわかったことを伝え合う活動を通して、伝える相手を想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりしている。

●主体的に学習に取り組む態度

これまでの町探検で気付いたことやわかったことを伝え合う活動を通して、町に対する愛着をいっそう深め、これからも町の人や場所と進んで関わろうとしている。

| 小単元名と小単元の目標 | 評価規準（おおむね満足できる） | | 十分満足できると見取る児童の具体例 | 努力を要する児童への支援 |
|--|-----------------|--|--|---|
| 町の すてきを つたえよう （3時間） 町のすてきを伝える活動を通して、伝えたいことが相手に伝わるよさや楽しさがわかるとともに、相手意識や目的意識をもって友達と協力して発表したり、招待した人と交流したりすることができるようにする。 | 知 | 伝えたいことが相手に伝わることのよさや楽しさがわかっている。 | 発表後に招待した人から感想をもらったり、友達と気付いたことなどを伝え合ったりする活動を通して、さらに気付いたことやわかったことが増えるなど、交流することのよさや楽しさがわかっている。 | ●伝えたいことを相手にうまく伝えることができた喜びを感じている子どもの発言を取り上げてクラス全体に広げ、価値づける。 |
| | 思 | 相手意識や目的意識をもって、わかりやすい伝え方を工夫しながら発表している。 | 一方的に伝えるだけでなく、相手の反応や状況を気にしながら、臨機応変に伝え方を変えている。 | ●相手意識や目的意識をもった発表をしている子どもを賞賛してクラス全体に広げ、参考にさせる。 |
| | 態 | 町のすてきを身近な人に広めたいという思いをもって、友達と協力して発表したり、招待した人と交流したりしようとしている。 | ・友達と相談しながら役割分担や伝え方を工夫して発表したり、ほかのグループの発表を積極的に聞いたりして、発表をよりよいものにしようとしている。 ・発表の中にクイズを取り入れたり、招待した人といっしょにほかのグループの発表を聞いたりして、進んで交流しようとしている。 | ●発表会でしたいことや、発表の計画をグループで話し合う時間を設定し、活動への意欲を高めることができるようにする。 |
| ありがとうをつたえよう （3時間） これまでの町探検を振り返る中で、身近な人と関わることのよさや楽しさを感じたり、適切に関わることができるようになったりした自分の成長がわかるとともに、これからも町の人や場所に親しみや愛着をもって進んで関わり、自分の生活を楽しむことができるようにする。 | 知 | これまでの町探検の活動を通して、町の人や場所との関わりが深まり、自分自身も成長したことに気付いている。 | これまでの活動を振り返ったり、記録カードや写真、動画などを整理したりしながら、町との関わりが深まったことや知っている人が増えたことなどがわかり、自分自身も成長したことに気付いている。 | ●町探検に行く前の自分と今の自分を比較し、できるようになったことや自分が変わったところを探してみるように促し、自分の成長に気付くことができるようにする。 ●「〇〇さんは、こんなことができるようになったね」など、これまで見取ってきた子どもの姿を賞賛し、自分の成長を想起できるようにする。 |
| | 思 | 町の人や場所を思い起こしながら、町のために自分ができることややってみたいことを考えている。 | 「お客さんに秋の和菓子のおすすめを知ってもらいたいから、紹介するポスターを作ろう」「落ち葉の掃除が大変だと言っていたから、一緒に公園を掃除するのはどうかな」など、町の人や場所を意識しながら、自分ができることややってみたいことについて考えている。 | ●これまでの活動で撮影した写真や動画を提示したり、町のためにできることややってみたいことを考えている子どもの発言や記述を取り上げたりして、考えるヒントとなるようにする。 |
| | 態 | これからも町の人や場所と進んで関わり、自分の生活を楽しむようとしている。 | お世話になった人に手紙やポスターなどを作って感謝の気持ちを伝えようとしたり、発表会に招待した人以外にも町のすてきを伝えようとしたりして、積極的に町の人と関わろうとしている。 | ●町の人や場所と積極的に関わろうとしている子どもの記述や発言を取り上げて称賛し、クラス全体に広げる。 |